

## 第 20 回新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録

日時：R3.1.11(月) 11:00～11:30

場所：本館 5 階審議会室

(進行：波村対策室長)

### 1 開会

### 2 本部長訓示(蒲島知事)

※別紙「第 20 回熊本県新型コロナウイルス感染症対策本部会議 本部長訓示概要」により訓示

### 3 議事

#### (1) 感染者の発生状況について

資料 1 により説明(上野健康危機管理課長)

#### (2) 県民・事業者への要請、感染症対策について

資料 2 により説明(渡辺健康福祉部長)

#### (3) 事業者への要請に伴う協力金の支給について

資料 3 により説明(藤井商工労働部長)

#### (4) GoTo キャンペーン事業への対応について

資料 4 により説明(寺野観光戦略部長)

#### (5) その他

##### 【発言】

##### ●田嶋副知事

昨日熊本市から、医療についての非常に強い危機感が発出され、医療提供体制について3つ、ベッドを増やす、ホテル等の療養施設を確保する、そして広域調整を進めるという話がありました。

当然、医療への負荷を軽減するため、分母を大きくするというのは大事なので、それについては全力を尽くして欲しいんですが、軽症者とか無症状者等のホテル利用については、熊本市と連携しながら強力に進めていただきたい。医療の負荷を下げることが非常に重要なので、これまで以上に頑張ってくださいと思います。よろしくをお願いします。

##### ●木村副知事

今、田嶋副知事からお話がありました、まさに宿泊療養施設等の調整について、恐縮ながら、広域調整、熊本市からご相談いただいている分については100%こなしているんですけども、どうもその向こうに、まだ熊本市保健所内で眠っている人たちがいっぱいいるようなので、そこはよく連携して、こちらが敢えて前向きに入り込んで対応するようにしてください。

先ほど、藤井商工労働部長の方から、例の協力金の、色々な意見があるということを知りました。確かに、見回りを市と連携してやるのは大事ですけども、我々見回りに行く職員の安全も大事なので、そこは警察当局と連携して、無理ない対応をしっかりといただければと思います。